

県立南宇和病院の存続と機能強化などについて知事に要望しました

町議会では、厚生労働省が再編・統合の検討を必要とする公立・公的病院として県立南宇和病院の名前を公表したことを受け、12月4日(水)に県庁で中村時広知事に病院の存続や機能強化などを要望しました。

中村知事からは、「医師の確保や地域医療に携わる研修医が経験を積める技術の導入を含め、南宇和病院の存続に向けて全力を尽くしていきたい」との心強い言葉を頂きました。



令和2年第1回 愛南町議会主催「議会報告会」のお知らせ

今回は、総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会および図書館等建設検討特別委員会から昨年の活動報告を行います。皆さまお誘い合わせの上、お越しください。

- ▶日時 2月14日(金) 18:30~20:00
- ▶場所 御荘文化センター2階大研修室
- ▶内容 各委員会の活動報告
- ▶主催 愛南町議会



問：議会事務局 電話：72-7320

納税意識の向上を目指して 税についての作文 表彰式

12月6日(金)に宇和島商工会館で令和元年度中学生の「税についての作文」の表彰式が行われ、入賞者が表彰を受けました。町内からは、御荘中学校の吉田七海さんが四国納税貯蓄組合総連合会長賞を受賞するなど5人が入選しました。

- 四国納税貯蓄組合総連合会長賞
御荘中学校3年 吉田 七海さん
「我が家にとっての税」
- 宇和島税務署長賞
御荘中学校3年 安田 百花さん
「私たちの生活と税」
- 宇和島地区租税教育推進協議会長賞
城辺中学校3年 池田 夢美さん
「税が創る安心・安全な社会」
- 宇和島間税会長賞
内海中学校2年 織田 凜花さん
「税の大切さ」
- 宇和島税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
一本松中学校2年 山本 陸王さん
「税の、変わらない部分と変わる部分」



右から
吉田 七海さん、安田 百花さん、池田 夢美さん
織田 凜花さん、山本 陸王さん



愛媛CATV
動画

11/13 子どもたちや障がい者福祉のために役立てて
チャリティーゴルフで集まった寄付金を贈呈

四万十カントリークラブで開かれた「第23回一本松チャリティーゴルフコンペ」(11月10日(日) 同実行委員会主催)の参加者有志や協賛企業から募った寄付金等の贈呈式が愛南ゴルフセンターであり、大会実行委員長を務める前田仁さんから町教育委員会や町内保育所・幼稚園、ありんこくらの各代表者に対して目録の贈呈が行われました。

このチャリティーは、ゴルフを通じて社会貢献をしたいとの思いで毎年行われているもので、集まった寄付金は障がい児者の親の会の活動や、町内の子どもたちが読む本・保育資材などの購入費用に充てられます。

第1回大会から22年間この大会の実行委員長を務められた福岡義人医師が昨年6月にお亡くなりになり、今大会から実行委員長を務めている前田さんは、「たくさんの方の協力があって、ありんこくろや子どもたちにチャリティーを行うことができた。これからもずっと続けていきたい」と話しました。

寄付金を受け取ったありんこくろ会長の宮崎和友さんは、「前実行委員長の福岡先生の遺志を皆さんが受け継ぎ、チャリティーを続けてもらえることはありがたい。ありんこくろの催しやレクリエーション、勉強会などの活動費に充てさせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



左から手塚新一郎 船越保育園長、木村八代美 城辺保育所長、前田仁 大会実行委員長、中村維伯 教育長、宮崎和友 ありんこくろ会長

11/12

家畜の飼養技術を評価
池田一成さんが受賞

西予市野村畜産総合振興センターで「令和元年度愛媛県総合畜産共進会」があり、広見地区の畜産農家の池田一成さんが雌子牛の部で「ゆいなひめ10」が、未経産牛2区の部で「すまいる」が県最高位の優等賞首席、未経産牛1区の部で「えがお」が優等賞次席と3部門で優秀な成績を残しました。また、農林水産省3賞の農林水産大臣賞を「すまいる」が、中国四国農政局長賞を「ゆいなひめ10」が受賞し、2冠を達成しました。



農林水産大臣賞を受賞した「すまいる」と池田一成さん

11/13

柏小で地域の達人から
工作などを学ぶ会

柏小で参観日に合わせて地域の達人に学ぶ会が行われました。特技を持っている地域の方から料理や手芸などを教わり、親睦を深めることを目的として毎年行われています。

今年はそば打ちや竹細工など4つのグループに分かれ、児童や保護者が参加して作り方や技術を学びました。

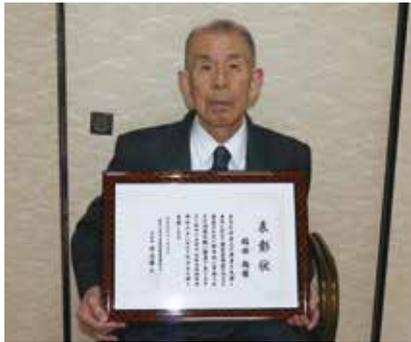
そば打ちを体験した4年生の井村竜也さんは、「達人が早く粉をこねていたところがすごかった」と話しました。



達人からクラフト紙の籠作りを教わる柏小の児童と保護者



愛媛CATV
動画



身体障がい者の福祉向上に寄与したことで表彰を受けた稲田稔さん

11/14

障がい者の福祉向上に
貢献 稲田稔さん受賞

松山市民会館で「第45回中
・四国身体障害者福祉大会」
が開催され、一本松地区在住
の稲田稔さんが大会長賞を受
賞しました。

稲田さんは昭和49年から旧
一本松町の身体障害者福祉会
の役員として、会員の自立更
生援助や身障団体の育成発展
に努められました。これまで
の功績が認められ、今回の受
賞となった稲田さんは、「皆
さんのおかげで受賞できまし
た。ありがとうございます」と
喜びを語りました。



晴天の下で健康ウォークを楽しむ参加者

11/17

久良地区で健康増進の
ウォーキングイベント

久良地区で「天巖鼻健康
ウォーク2019」が開催さ
れ、町内外から約150人が
参加しました。地区住民の健
康増進を図ることなどを目的
に、23年前から行われていま
す。

2.4kmから7.8kmまで4つの
コースが設けられ、参加者は
それぞれの体力に合ったコー
スを選んで歩きました。天
巖鼻コースを歩いた平城小1
年生の唐田優羽さんは、「遠
くて疲れたけど、楽しかった」
と感想を述べました。



自身が描いた油彩を案内する田中博子さん

11/18

10年間の集大成 田中
博子さんが個展開催

緑地区在住の田中博子さん
が、緑基幹集落センターで個
展を開催しました。

田中さんが約10年間かけて
制作した油彩や陶器、絵手紙、
シーボーンアートなどの作品
が数多く展示され、来場者は
足を止めて熱心に鑑賞してい
ました。

小規模な作品展は開催した
経験がありますが、今回の規
模や作品数では初めてという
田中さんは、「いろいろな作
品があるのでぜひ楽しんでい
ただきたい」と話しました。



息の合った演奏を披露する篠山小学校の児童

11/20・22

小中学生が音楽発表会
歌声や演奏を披露

御荘文化センターで「令和
元年度愛南町小・中学校音楽
発表会」があり、日頃の音楽
学習の成果をもとに合唱や合
奏などが披露されました。

学校ごとにステージに上
がった児童らは緊張しながら
も息の合った歌声を響かせ、
合奏ではさまざまな楽器の音
色を合わせて演奏しました。

篠山中1年生の植松奏多さ
んは、「練習の成果をしっか
り出せて、みんなの心を一つ
にして歌うことができた」と
感想を述べました。



愛媛CATV
動画

11/
16-17 道中から見下ろす海の展望が絶景
秋のウォーキングイベントに笑顔満開



秋のへんろ道を歩くウォーキングイベント「トレッキング・ザ・空海 あいなん」(同実行委員会主催)が11月16日(土)と17日(日)の2日間開催され、町内外から多くの方が参加して完歩を目指しました。

17日(日)の柏坂へんろ道コースは、柏のDE・あ・い・21から山道を経て宇和島市津島町の嵐坂ポケットパーク風園に至る道のりで、参加者は急な上り坂などに苦労しながらも互いに励まし合って歩きました。



また、道中には地域住民や婦人会、小中学生などが杖やあめ、みかんなどのお接待を行う接待所も設けられ、参加者に対して「お疲れさまでした」、「がんばってください」などと激励の声を掛けていました。

コース中盤にあるつわな奥展望台では、快晴で由良半島を望む絶景が広がり、参加者は食事や写真撮影を楽しんでいました。

島根県から参加し、2日間のコースを完歩した加藤幹雄^{みきお}さんは、「距離もちょうど良く、海が見える場所があるのが良かった。これほどのお接待があるイベントはなかなかない」と話し、地元から参加した家申小5年生の末弘哲也^{つひや}さんは、「ちょっと疲れたけど最後まで歩くことができて良かった。つわな奥から塩子島が見えてきれいだった」とそれぞれに満喫した様子でした。



17日(日)のコース完歩後には、町出身の俳人・夏井いつきさんの句会ライブもあり、参加者が歩きながら考えた俳句に対して来場者と意見交換を行うなど、軽妙なやり取りに会場は大いに盛り上がりました。

11/
18 中学生が町内の高齢者福祉施設で体験学習
認知症に対する理解を深める講座開講



中学生に認知症について話をするなんぐん館の高魚由美さん(左)と宮崎逸子さん

御荘中学校2年生47人が町内6カ所の高齢者福祉施設を訪問し、施設の見学や入所者との交流、各施設職員を講師とした「認知症サポーター(ジュニアサポーター)養成講座」の受講などを行いました。

この取り組みは、認知症について正しい知識と理解を持ち、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターを養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちをつくっていかよう行われているもので、これからの将来を担う子どもたちにも認知症のことを知ってもらうために企画されました。



なんぐん館の利用者と触れ合って理解を深める御荘中の生徒

老人保健施設なんぐん館では、9人の生徒が、職員の宮崎逸子さんと高魚由美さんから認知症の症状や認知症の方と接するときの心構えなどについて話を聞き、講座終了後には認知症サポーターの証であるオレンジリングを受け取りました。

受講した橋本怜奈^{れいな}さんは、「認知症の方が周りにいなかったの身近ではなかったけど、もしおばあちゃんが認知症になったら親に代わって手助けできるようになりたい」と感想を述べました。また、実際になんぐん館を利用している高齢者の方々との触れ合いを通して、学校の中では得ることのできない貴重な体験をしました。

11/19 家串小児童が魚神山地区で学習成果などを発表 ふるさと学習会で避難経路などを確認



家串小学校全校児童が参加する「ふるさと学習会」が魚神山公民館(分館)であり、地域住民や保護者の前で合唱や防災学習の成果発表などを行いました。

「愛南町小・中学校音楽発表会」で同校児童が歌う「おくりもの」や、旧魚神山小学校校歌の歌唱で会が始まり、続いて行われた3・4年生による防災劇では、豪雨災害で由良半島で土砂崩れが発生したにも関わらずみんなで協力して避難した結果、犠牲者が出なかったという物語を演じ、大雨や地震の際には早めに避難するよう来場者に呼び掛けました。

1・2年生によるダンスの披露に続き、5・6年生がこれまでに取り組んできた防災学習の成果を発表し、魚神山地区の避難場所や避難経路を写真を用いて説明しながら安全に避難するための方法などを紹介しました。

会の最後は児童と来場者が合同で地区の避難経路の確認を行い、高台にある金毘羅神社まで歩いて災害に対する備えや理解を深めました。学習会に参加した6年生の伊勢小葉^{このは}さんは、「劇や踊りを見るのが楽しかった。避難経路は階段が急で、お年寄りが避難するのは大変だと思った。災害が起きたときには自分たちが手助けをして、全員が助かるようにがんばりたい」と話しました。



自然保護官から篠山について学びながら頂上を目指す参加者

「ワクワク体験教室 篠山の自然を楽しもう！」が開催され、町内の小学生23人が参加して篠山登山に挑戦しました。道中では環境省自然保護官が出題する篠山に関するクイズに挑戦し、篠山について学習しました。約1時間かけて頂上に到着した参加者は、山頂から見渡す景色に歓声を上げ、「登るのは大変だったけど、頂上からの景色はすごくきれいだった」などの感想を述べていました。

11/23

愛媛CATV
動画

小学生が篠山について 学習しながら登頂



菊川公民館内のステージで劇を披露する愛南警察署「なーし一座」

菊川公民館周辺で「第40回 菊川ふるさとまつり」が開催され、生け花や絵画、俳句などの作品が施設内で展示されたほか、愛南警察署の劇や若紫乃の会の日舞、カラオケなどが披露されました。また、施設前の駐車場では地域住民による出店があり、うどんやおでんなどの販売や射的などが行われました。イベントに参加した平城小3年生の菅原圭史^{けいし}さんは、「射的が楽しかった。またやりたい」と話しました。

12/1

愛媛CATV
動画

地域住民が交流 でふるさとまつり